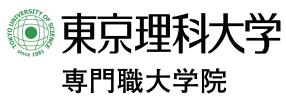


2023年度  
ガイドブック別冊



CURRICULUM COMPILATION TABLE



# カリキュラム改正のポイント

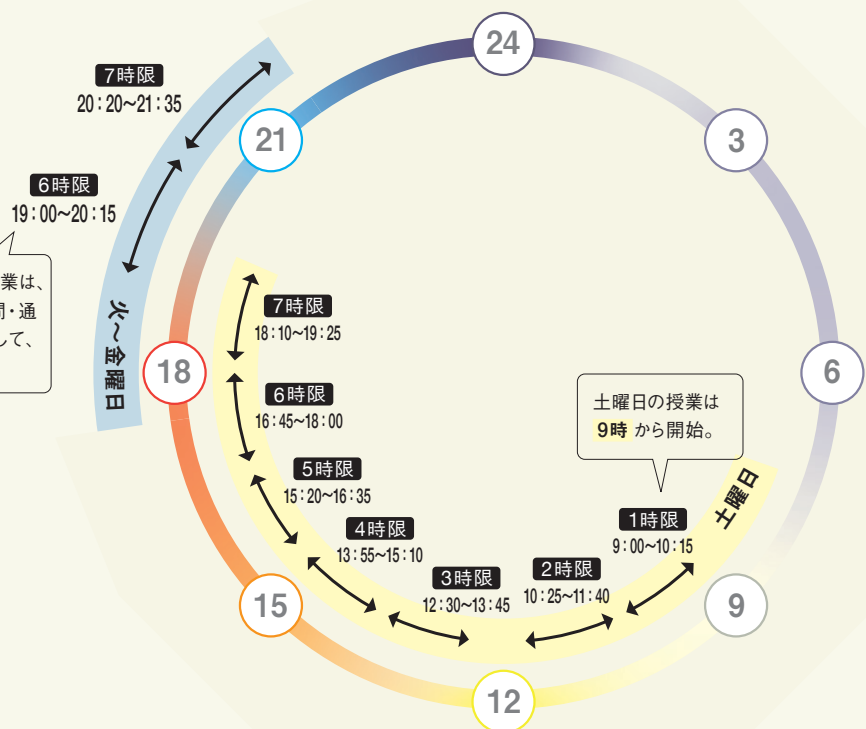
東京理科大学専門職大学院は、イノベーション研究科を廃止し、2018年度から新たに経営学研究科技術経営専攻として、教育課程の軸を経済・経営に力点を移してMBA的要素を大きく取り入れたMOT1.0を第1期生とともにスタートしました。MOT1.0スタート後も、本専攻では社会(産業界等)の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、社会的要請に応えるための不断の改革により、2020年度にはMOT2.0、そして2023年度にはMOT3.0へとバージョンアップを推し進めます。MOT3.0ではディプロマ・ポリシーに基づいた高い実践的な専門性と倫理観、国際的視野を持ち「科学技術」及び「経営」の複眼的・実践的融合を通じて社会を牽引する高度専門職業人を育成するためのカリキュラムを更に深化させるよう編成することで、学生のビジネスライフに配慮しながら、複眼的な理解思考を涵養し、更なる質の高いグラデュエーションペーパー(最終成果物)を世に創出するために必要な体制を構築します。

## より社会人に適した学びの場に

### 通学しやすい時間帯

- MOT3.0の授業開講時間は、180分(1時限90分)・四半期8回から、150分(1時限75分)・四半期9回に変更します。

火～金曜日の授業は、学生の退社時間・通学時間を考慮して、**19時**から開始。



### 通学しやすい立地

- 授業を実施する神楽坂キャンパスの最寄りの駅は、鉄道5路線が交差する飯田橋駅となり、駅から徒歩5分以内の場所に学び舎があります。
- [交通案内]  
JR中央・総武線飯田橋駅西口より徒歩5分、  
地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線飯田橋駅 B3出口より徒歩1分

### 修了生へのアフターフォローの活動

- 本専攻では、修了した学生のさらなる質の向上と社会に対する質保証を目的に「知の定期健康診断」を実施し、修了後の現況確認サポート体制を構築しています。

### オンラインによる学修環境の提供

- 授業形態は、一部の授業を除き対面とオンラインのハイフレックスで受講が可能です。
- 授業で使用するオリジナル教材の配付やレポートの提出はオンラインで行うことができます。また、大学からのお知らせもオンラインで配信します。

### 2022年度初年度納付金(年額)

入学金	授業料	施設設備費	合計
200,000円	1,170,000円	300,000円	1,670,000円

- 授業料、施設設備費は2回に分納できます。
- 2年次の授業料、施設設備費は1年次と同額となります。
- 上記の他、その他の納付金として学生傷害共済補償費を徴収します。
- 学校法人東京理科大学の設置する大学学部を卒業し、技術経営専攻に進学する者は、入学金を半額とします。

MOT3.0

科目区分	教育領域							授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数
	CEO/COO的知見	CTO的知見	CMO的知見	CIO/COの知見	起業家的知見	その他CXO/ステークホルダー的知見					
基礎科目	○	○	○	○	○	○	○	技術経営入門	選択	1	2
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションと科学技術			
	○	○	○	○	○	○	○	企業産業分析予測			
	○	○	○	○	○	○	○	経営倫理とリスク管理			
	○	○	○	○	○	○	○	組織と人事			
	○	○	○	○	○	○	○	経営戦略とマーケティング			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションのための財務会計			
	○	○	○	○	○	○	○	研究開発マネジメント			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ものづくり			
専門科目	○	○	○	○	○	○	○	ICTとクラウドビジネス	選択	1-2	2
	○	○	○	○	○	○	○	地域産業資源と伝統技術			
	○	○	○	○	○	○	○	標準化戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	社会的安全保障			
	○	○	○	○	○	○	○	科学技術・産業政策			
	○	○	○	○	○	○	○	産学官連携イノベーション展開			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営知財戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生む競争政策			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションエコシステム			
	○	○	○	○	○	○	○	ビジョナリー・アート・妄想力			
	○	○	○	○	○	○	○	新規事業戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	スタートアップサイエンス			
	○	○	○	○	○	○	○	情報アナリシス			
	○	○	○	○	○	○	○	企業・経営者倫理			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営におけるガバナンス・法務戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーション志向ESG SDGs戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを創出する組織戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを創る人事戦略			
○	○	○	○	○	○	○	アドバンスドリーダーシップ				
○	○	○	○	○	○	○	実践グローバル行動経済分析				
社会連携科目	○	○	○	○	○	○	○	価値創造	選択	1-2	2
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ビジネスプロセスマネジメント			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営マーケティング			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営ブランド・ブランディング戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	グローバルイノベーションマクロ文化論			
	○	○	○	○	○	○	○	フィンテック戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	実践M&A戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	イノベーションを生む財務戦略			
	○	○	○	○	○	○	○	経営理論概要			
	○	○	○	○	○	○	○	海外展開基礎理論			
演習科目	○	○	○	○	○	○	○	ことづくり産業特別講義	必修	1	2
	○	○	○	○	○	○	○	ものづくり産業特別講義			
	○	○	○	○	○	○	○	先端科学技術特別講義			
	○	○	○	○	○	○	○	技術経営特別講義			

**【修了要件】**  
 2年以上在学し、以下の科目修得条件を満たし、40単位以上を修得すること。  
 ①必修科目を全て履修し、修得すること。  
 ②専門科目から20単位以上を履修し、修得すること。

**【履修方法】**  
 ①教員から履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。  
 ②ゼミナール1の履修は、ゼミナールエクササイズを履修することを履修条件とする。  
 ③授業科目毎に指定科目の履修を条件とする場合がある。  
 ④1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、34単位とし、半期の単位数の上限は28単位とする。

基礎科目

2022年度(MOT2.0)				MOT3.0			
科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数	科目区分	授業科目の名称	単位数
基礎科目	科学技術基礎	選択	1	1		技術経営入門	
	財務・会計基礎					イノベーションと科学技術	
	マーケティング基礎					企業産業分析予測	
	経営基礎					経営倫理とリスク管理	
	経済学基礎					組織と人事	
コア科目	イノベーションを生む企業文化	必修	1	1		経営戦略とマーケティング	
	組織進化論					イノベーションのための財務会計	
	イノベーション志向型経営戦略論					研究開発マネジメント	
	科学技術論					イノベーションを生むデザイン・デジタル戦略	
	経営管理会計					技術経営ものづくり	
	マクロ・ミクロエコノミクス					ICTとクラウドビジネス	
	イノベーション志向型マーケティング					地域産業資源と伝統技術	
コンプライアンス・リスク管理論	標準化戦略						

社会連携科目

2022年度(MOT2.0)				MOT3.0			
科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数	科目区分	授業科目の名称	単位数
社会連携科目	サービス関連産業特別講義	選択	1	2		ことづくり産業特別講義	
	製造産業特別講義					ものづくり産業特別講義	
	先端科学技術特別講義					先端科学技術特別講義	
	経営戦略・組織行動特別講義					技術経営特別講義	
	金融産業特別講義						
	イノベーション・起業特別講義						

演習科目

2022年度(MOT2.0)				MOT3.0			
科目区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数	科目区分	授業科目の名称	単位数
演習科目	実践CXO・起業家ケーススタディ1	選必	1	2		実践CXO・起業家ケーススタディ1	
	実践CXO・起業家ケーススタディ2					実践CXO・起業家ケーススタディ2	
	実践CXO・起業家ケーススタディ3					実践CXO・起業家ケーススタディ3	
	実践ケーススタディ	選択	2	実践ケーススタディ			
	プロジェクトエクササイズ			ゼミナールエクササイズ			
	プロジェクト1	必修	2	2		ゼミナール1	
	プロジェクト2					ゼミナール2	
	プロジェクト3					ゼミナール3	
プロジェクト4	ゼミナール4						

MOT3.0

**基礎科目**  
 専門科目、社会連携科目及び演習科目を履修し、グラデュエーションペーパーに取り組み上で必要かつ共通の応用的知識や知見を修得する科目を配置する。  
**【授業形態】**  
 「理論50～70：ケース10～20：グループ討論10～20：ゲスト0～10：校外学習0」

**社会連携科目**  
 イノベーションを起こすCXOや起業家を目指す学生が、必要とする知見を学ぶだけでなく、MOTのほか、本学他学部、企業や業界団体等と交流、連携していく科目を配置する。  
**【授業形態】**  
 「理論0：ケース0：グループ討論0～20：ゲスト70～80：校外学習0～20」

**専門科目**  
 学生の社会ニーズに応える能力、グラデュエーションペーパーを完成する上で、必要な専門的知見を修得する科目を配置する。  
**【授業形態】**  
 「理論10～80：ケース10～30：グループ討論10～30：ゲスト0～70：校外学習0～20」

**演習科目**  
 CXOや起業家を目指す学生が、イノベーションを起こしてきた経営者や起業家等のケーススタディに触れる等の機会を通じ、学んだ知見を総合的に組立て、特別解として実践知を修得する科目を配置する。  
**【授業形態】**  
 「理論10：ケース0：グループ討論50～70：ゲスト20～40：校外学習0」

専門科目

2022年度(MOT2.0)				MOT3.0			
トラック区分	授業科目の名称	必・選区分	標準履修学年	単位数	トラック区分	授業科目の名称	単位数
E M O T	研究開発マネジメント	選択	1	2		研究開発マネジメント	
	デジタルトランスフォーメーション					デジタルトランスフォーメーション	
	技術経営ものづくり					技術経営ものづくり	
	ICTビジネス展開					ICTビジネス展開	
	地域産業資源と伝統技術					地域産業資源と伝統技術	
	標準化戦略					標準化戦略	
	社会的安全保障					社会的安全保障	
	科学技術・産業政策					科学技術・産業政策	
	産学官連携イノベーション展開					産学官連携イノベーション展開	
	技術経営知財戦略					技術経営知財戦略	
専門	イノベーションを生む競争政策	選択	1-2	2		イノベーションを生む競争政策	
	イノベーションエコシステム					イノベーションエコシステム	
	ビジョナリー・アート・妄想力					ビジョナリー・アート・妄想力	
	新規事業戦略					新規事業戦略	
	スタートアップサイエンス					スタートアップサイエンス	
	情報アナリシス					情報アナリシス	
	企業・経営者倫理					企業・経営者倫理	
	技術経営におけるガバナンス・法務戦略					技術経営におけるガバナンス・法務戦略	
	イノベーション志向ESG SDGs戦略					イノベーション志向ESG SDGs戦略	
	イノベーションを創出する組織戦略					イノベーションを創出する組織戦略	
新設	イノベーションを創る人事戦略	選択	1	1		イノベーションを創る人事戦略	
	アドバンスドリーダーシップ					アドバンスドリーダーシップ	
	実践グローバル行動経済分析					実践グローバル行動経済分析	
	行動経済学					行動経済学	
	価値創造					価値創造	
	技術経営ビジネスプロセスマネジメント					技術経営ビジネスプロセスマネジメント	
	技術経営マーケティング					技術経営マーケティング	
	技術経営ブランド・ブランディング戦略					技術経営ブランド・ブランディング戦略	
	グローバルイノベーションマクロ文化論					グローバルイノベーションマクロ文化論	
	フィンテック戦略					フィンテック戦略	
新設	実践M&A戦略	選択	1	1		実践M&A戦略	
	イノベーションを生む財務戦略					イノベーションを生む財務戦略	
	経営理論概要					経営理論概要	
	海外展開基礎理論					海外展開基礎理論	
	ことづくり産業特別講義					ことづくり産業特別講義	
	ものづくり産業特別講義					ものづくり産業特別講義	
	先端科学技術特別講義					先端科学技術特別講義	
	技術経営特別講義					技術経営特別講義	
	実践CXO・起業家ケーススタディ1					実践CXO・起業家ケーススタディ1	
	実践CXO・起業家ケーススタディ2					実践CXO・起業家ケーススタディ2	
新設	実践CXO・起業家ケーススタディ3	必修	1	2		実践CXO・起業家ケーススタディ3	
	実践ケーススタディ					実践ケーススタディ	
	ゼミナールエクササイズ					ゼミナールエクササイズ	
	ゼミナール1					ゼミナール1	
新設	ゼミナール2	必修	2	2		ゼミナール2	
	ゼミナール3					ゼミナール3	
	ゼミナール4					ゼミナール4	
	ゼミナール4					ゼミナール4	

**【修了要件】**  
 2年以上在学し、以下の科目修得条件を満たし、40単位以上を修得すること。ただし、基礎科目に配置する授業科目は、修了要件に含めない。  
 ①必修科目を全て履修し、修得すること。  
 ②実践CXO・起業家ケーススタディ1・2のどちらか一方を履修し、修得すること。  
 ③2年次に配属されたトラック(履修コース)の選択科目を6科目以上履修し、修得すること。

**【履修方法】**  
 ①教員から基礎科目の履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。  
 ②2年次に配置科目の履修は、授業科目毎に定める指定科目の修得を履修条件とする。  
 ③2年次に進級する条件は、全てのコア科目を履修し、修得すること。

MOT2.0



# グラデュエーションペーパーの創出に関する教員の研究領域

社会		イノベーション創出政策・競争政策				
産業					ガバナンス、SDGs 経営倫理	
企業		技術経営一般実践	イノベーション経営モデル			
事業	R&D マネジメント・組織戦略実践					
チーム		起業・新規事業・事業化戦略	ものづくり、DX、金融工学、技術マーケティング実践			
個人	妄想、コンセプト実践					
	アイデア／発明	開発／実用化	事業化	収益化	多角化／再編	再成長／EXIT

## グラデュエーションペーパー事例

鶴賀寿和さん(2021年3月修了)  
CKD株式会社

【題目】  
価値創造を促す『見える工場』によるオープンイノベーション  
～工場見学と生産技術オープンラボを対話イノベーションの場に～

【概要】  
転換期を迎える製造業において、従来の取引関係でない、価値を創造する顧客との関係を考える。ものづくり現場としての工場の機能に着目し、その要となる生産技術研究所を起点とした価値創造のしくみを提案する。

主査 若林秀樹教授 ペーパー区分 ビジネス企画提案

井田琢也さん(2021年3月修了)  
芝浦メカトロニクス株式会社

【題目】  
半導体パッケージおよびチップボンダーの価値創造

【概要】  
More than Mooreで多様化する半導体パッケージの技術スペック単位と、チップボンダーのスペック単位との間にある法則性を見出し、さらにPost Moore時代のパッケージに向けた新たなスペック単位を提供し、双方の価値向上をめざす。

主査 若林秀樹教授 ペーパー区分 技術経営論文

横枕祐さん(2020年3月修了)  
CKD株式会社

【題目】  
Industry4.0におけるFA機器メーカーの共創戦略提案  
～製薬業界に対する提案事例～

【概要】  
製造業のIoT化により、工場もスマート化が進行し、プラットフォームの重要性が高まっている。空気圧FA(Factory Automation)機器メーカーの一つであるCKDが優位性を保つためには、データを収集し、工場のシステムとつながる機器を提案する必要がある。

主査 若林秀樹教授 ペーパー区分 ビジネス企画提案

佐久間昭宏さん(2022年3月修了)  
CKD日機電装株式会社

【題目】  
PMIにおける異文化企業間のシナジーを創出する組織戦略

【概要】  
CKDグループに統合したCKD日機電装は、各々の異文化を尊重しつつ、製品開発では新結合を目指している。グループの開発や生産、販売などシナジーを導き出すとともに、各々の企業文化を活かした組織の提案を行う。

主査 若林秀樹教授 ペーパー区分 ビジネス企画提案